

# まちの整備と発展へ 69億円

平成29年度の当初予算が3月7日から16日までの会期で開かれた議会定例会3月会議で原案どおり可決され、一般会計と特別会計との総予算額は69億6760万円となりました。  
一般会計は、48億100万円で、前年度(平成28年度)と比較して△6200万円(1.3%)の減額となりました。

## 主な事業と予算額 (◎は新規事業)

### 投資事業

- 町道整備事業(祇園線、佐野原祇園線、新井田1・2・3号線、樋の沢大佐線).....25,605万円
- 無量光院跡公有化事業.....20,396万円
- (仮称)平泉スマートインターチェンジ整備事業...19,209万円
- 特別史跡無量光院跡保存修理事業.....7,016万円
- 橋梁長寿命化事業.....4,200万円
- 第5分団屯所建設事業.....2,863万円
- 平泉遺跡群発掘調査事業.....2,230万円
- 県営農村地域防災減災事業負担金(北照井堰).....1,816万円
- ◎庁舎1階フロアカウンター改修工事.....1,366万円
- 浄化槽設置整備事業補助金.....678万円
- 生活再建住宅支援事業.....550万円
- 県営かんがい排水事業負担金(東稲第2地区).....400万円

### 一部事務組合等負担金

- 一関地区広域行政組合負担金(環境衛生部門).....12,181万円
- " (介護保険部門).....12,138万円
- 消防事務委託負担金.....12,828万円
- 給食事務委託負担金.....967万円
- 市町村総合事務組合負担金.....561万円

### 主要事業

- ◎東北観光復興交付金事業(6事業).....8,247万円
- 中山間地域等直接支払制度事業.....6,486万円
- 多面的機能支払交付金事業.....4,993万円
- 予防接種事業.....2,394万円
- ◎地域企業経営強化支援事業.....2,000万円
- 町単独医療費助成事業(対象年齢を18歳まで引き上げ).....1,892万円
- ◎まちの元気発信事業.....1,648万円
- ◎文化芸術振興費補助.....1,600万円
- 放課後児童対策事業.....1,542万円
- がん等の検診事業.....1,521万円
- 地域活力推進事業.....1,000万円
- 小型動力ポンプ付積載車購入費.....852万円
- ◎浄土の拠点施設事業.....567万円
- 景観阻害要因除去助成事業.....500万円
- 東稲山桜情景復活事業.....468万円
- ◎ハザードマップ、農地ため池ハザードマップ作成.....431万円
- 平泉町6次産業化促進支援事業.....418万円
- ◎国際交流員活用事業.....403万円
- ◎店舗リフォーム補助金.....150万円
- ◎新規作物導入支援事業.....90万円
- ◎取引支援促進事業.....70万円

### 町債残高見込み

町債については、社会基盤や公共施設の整備などの財源として活用してきましたが、29年度末残高見込みは全会計合わせて88億1365万円で、町民1人当たりになると約117万円となります。

町債の活用にあたっては、将来の住民に過大な負担を残さないよう、財政運営の健全化に努めてまいります。

### 地方債現在高(見込み) (単位：万円)

会計別	平成29年度	平成28年度	比較
一般会計	466,611	474,967	△ 8,356
下水道事業特別会計	212,702	215,595	△ 2,893
農業集落排水事業特別会計	56,738	58,719	△ 1,981
簡易水道事業特別会計	52,463	48,150	4,313
水道事業会計	92,851	90,539	2,312
合計	881,365	887,970	△ 6,605

### 各会計別総括表 (単位：万円)

会計別	平成29年度	平成28年度	比較	
一般会計	480,100	486,300	△ 6,200	
国民健康保険特別会計	99,470	104,540	△ 5,070	
後期高齢者医療特別会計	7,950	7,690	260	
健康福祉交流館特別会計	6,510	6,650	△ 140	
町営駐車場特別会計	6,160	7,990	△ 1,830	
下水道事業特別会計	34,690	34,520	170	
農業集落排水事業特別会計	7,350	8,850	△ 1,500	
簡易水道事業特別会計	20,510	16,710	3,800	
水道事業会計	3条予算	17,620	17,530	90
	4条予算	16,400	16,760	△ 360
合計	696,760	707,540	△ 10,780	

一般会計の町民1人当たりの予算額は**608,569円**(608,941円)となります。

民生費	教育費	土木費	総務費	公債費
130,998円(146,300円)	99,172円(80,028円)	97,954円(87,908円)	68,359円(62,659円)	64,392円(64,944円)
農林水産業費	衛生費	商工費	消防費	その他
41,474円(76,758円)	37,924円(40,117円)	28,784円(16,105円)	27,787円(22,843円)	11,725円(11,279円)

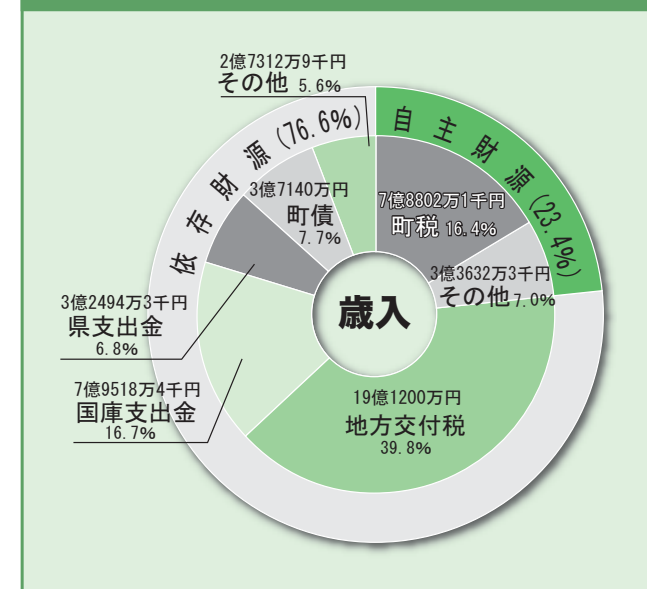
※平成29年3月1日現在の人口7,889人、( )内は前年度の数値、平成28年3月1日現在の人口7,986人でそれぞれ計算(外国人住民を含む)

### 歳入

歳入を見ると、自主財源では財産収入や繰入金などの減額により、全体で11億2434万4千円と、前年度当初比1億9325万8千円の減額となりました。

依存財源では、国庫支出金および地方交付税の増額が見込まれ、全体で36億7665万6千円と、前年度当初比1億3125万8千円の増額となりました。

### 一般会計歳入



### 歳出

歳出を目的別に見ると、民生費が10億3344万7千円と最も大きな割合を占めています。次いで、教育費7億8236万6千円、土木費が7億7275万8千円、総務費5億3928万2千円、公債費5億798万7千円、農林水産業費3億2718万8千円、衛生費2億9918万3千円、以下商工費、消防費と続きます。

性質別に見ると、投資的経費は道路改良事業、特別史跡無量光院跡保存整備事業などの普通建設事業が9億

3998万2千円、災害復旧事業が358万9千円と、前年度当初比1億7769万3千円の減額となっています。

義務的経費については、公債費は5億796万6千円と前年度当初比1066万円の減額となりました。人件費は給与改定や国際交流員など特別職の増などにより984万6千円の増、扶助費は医療費助成の増などにより1470万5千円の増額となり、全体で19億4701万7千円と、前年度当初比で1389万1千円の増額となりました。

### 一般会計歳出

